

事務局便り

この1年の主な活動記録

高知県技術士会事務局

平成20年度秋の定例総会の開催(12/3)

平成20年12月3日(水)17時～

高知会館

講演会36名,交流会27名の参加を得て,定例総会を開催した。なお講演会は,高知新聞に一般聴講者も募集案内を掲載し,数名聴講した。

講演会に先だって事務局から,高知県建設技術公社との協定に関する状況報告と(社)日本技術士会の会員目標値42に関し,さらなる入会をお願いがあった。

講演会は,「日本及び高知県経済の現状と課題」と題して,日本銀行高知支店支店長衛藤公洋様にご講演いただいた(使用スライド別添)。米国の「サブプライム問題」に端を発する世界経済の動向,日本経済の現状と展望,高知県の経済の動向などを踏まえ,1.5次産業や環境ビジネスへの期待が紹介された。



代表幹事の挨拶



会議の様様



支店長衛藤様の講演



熱心な質疑



交流会,村山顧問の乾杯

(社)高知県建設技術公社と「建設技術の協力・支援に関する協定」の締結(12/24)

この協定は,行政機関への技術支援について,専門分野からの技術協力により建設行政の円滑な執行を図ると共に,建設技術公社が行う研究業務への協力を行うこと,を目的としている。協定期間は1年間である。

(社)日本技術士会中・四国支部幹事会への参加(3/14)

平成21年3月14日(土)12時～

中四国支部事務局(広島市),右城代表参加 牧山支部長他27名が参加した。支部長挨拶の後,2月16日に日本技術士会の高橋会長に,牧山中四国支部長の名前で,「四国支部の分離独立」申請書を提出したとの理事会報告あり。第4回幹事会議事録と平成21年度事業計画案がそれぞれ報告され,承認された。

山口県から平成21年度の「地域産官学と技術士の合同セミナー(山口開催)」について説明があった。開催日は8月29日(土),会場はニューメディアプラザ山口(山口市)で,大会テーマは「食の安全安心」。

また,徳島県から「第15回西日本技術士研究・業績発表年次大会」準備状況の報告があり,開催日は11月13日(金),14日(土),会場は徳島県郷土文化会館,大会テーマは「活力に満ちた地域づくりと技術士の役割」,分科会テーマは「郷土の物産・産業」,「郷土の自然・歴史・文化」である。この他に懇親会やテクニカルツ

アーが催される。

四県技術士会(第14回)高知への参加(3/23)

(社)日本技術士会四国支部設立に関して四県役員で協議した。

平成21年3月23日(月)15時～

高知ホテル,右城代表幹事,山本副代表幹事,橋口幹事,古屋幹事,明坂参加

19名の各県役員が参加して,武山会長の挨拶に続き,牧山支部長,近藤本部理事の来賓挨拶の後,支部設立に関する申請手続きについて,会員数拡大アクションプログラム,設立時の運営体制,今後の取り組み方針などについて協議した。

役員会議の開催(4/8)

平成21年4月8日(水)15時～

(株)第一コンサルタンツ会議室

参加 右城,森,中村,橋口,小川,小澤,古屋,岡田,池本,明坂,

春の総会開催に関して,日程,講演会,交流会の内容など協議した。その他,(社)日本技術士会に関しては,会員増強,行事予定,理事選挙等について,また,(社)高知県建設技術公社との協定に関しては,内容,報酬などに関して協議した。秋の総会の日程案が事務局から出され,承認された。

技術士第二次試験合格者祝賀会並びに記念講演会・祝賀会の開催(4/25)

平成21年4月25日(土)14時～

四国電力(株)総合研修所(高松市屋島西町)

四国四県の技術士会の共同事業として,新合格者25名を含む80名の参加者を得て開催。高知県からは右城代表幹事の他,片岡寛志氏((株)第一コンサルタンツ),吉岡恵氏((株)構営技術コンサルタント),上岡幹志氏((株)四電技術コンサルタント),中川洋史氏(同),多賀谷宏三氏(高知工業高等専門学校,既技術士)が参加した。(社)日本技術士会では合格者の入会を期待している。

祝辞(社)日本技術士会中・四国支部長牧山昭彦氏



牧山支部長の挨拶

記念講演 「増田淳の橋梁設計手法と設計思想について」徳島県技術士会会長加賀晃次氏



記念講演の様子

合格者祝賀会 16時～

香川県技術士会の武山正人会長の挨拶と乾杯の音頭で立食パーティーが開会,25名の新合格者を囲んで,新合格者から自己紹介,抱負が述べられ,先輩技術士との懇親を図った。

後で庭に出て,日本技術士会中・四国支部の役員と共に記念撮影を行った。



記念撮影



懇親会の様子

平成 21 年度春の定例総会(5/28)

平成 21 年 5 月 28 日 17 時より

高知会館

参加者数 43 名

右城代表幹事の挨拶に続いて、明坂事務局長より平成 20 年度事業報告と収支決算報告、岡田監事より監査報告があり満場一致で承認された。平成 21 年度事業計画、収支予算についても満場一致で可決された。

また、新入会員 5 名、片岡寛志氏 [建設, 河川, 砂防及び海岸・海洋, (株)第一コンサルツ], 吉岡恵氏 [建設, 河川, 砂防及び海岸・海洋, 構営技術コンサルト(株)], 川崎聡明氏 [建設, 港湾及び空港, 高知県公営企業局電気工水課], 中川洋史氏 [建設, 道路, (株)四電技術コンサルト高知支店], 上岡幹夫氏 [建設, 河川, 砂防及び海岸・海洋, (株)四電技術コンサルト高知支店] が紹介され、それぞれ自己紹介が行われた。



PPT を用いて平成 20 年度の事業報告をする明坂事務局長



上岡氏, 中川氏, 川崎氏, 片岡氏, 吉岡氏ら新入会員による自己紹介

特別講演会(同 5/28)

総会の後、四国建設弘済会理事長の福田昌史先生(工学博士, 技術士)に、「建設技術者の本懐 - パラダイムシフトと社会基盤施設」と題する特別講演をしていただいた。福田先生は元国土交通省四国地方整備局長で、現在は高知工科

大学の客員教授もされている。

特別講演会への参加者は 79 名、このうち会員以外の一般技術者は 32 名であった。

21 世紀にどのようなパラダイムシフトが起きるのか、これからの建設技術者には何が求められるのか、ご自身の経験に基づいて分かりやすく説明していただいた。

技術基準やマニュアルに書かれている既成概念に捉われることなく立案し、実施されたカゴマット工法、ポンプ付きゲート排水機場、柔構造樋管などの事例紹介は、大変参考になるものであった。



特別講演をされる福田昌史先生



福田先生の講演を熱心に聞き入る聴講者

村山保先生の卒寿を祝う会(同 5/28)

当会の前会長の村山保先生が 90 歳になられた。大変おめでたいので、特別講演の後「卒寿を祝う会」を開催した。参加者には「心小欲而志欲大」と書かれた色紙を進呈させていただいた。先生が持っておられる元内閣総理大臣吉田茂の直筆色紙をお借りし、それから作ったレブリカである。先生は、37 歳のときに、ご自身が設計された忠霊塔への文字を揮毫してもらったため、紹介状も持たずに大磯の吉田邸を訪問され、その際についてにと色紙に書いてもらっ

たそうである。

このときの経験から、「無理と思っても、当たって砕ければ案外成功する。勇気を奮って向かっていくことが大事」と教えていただいた。五十年経った今でも毎日この色紙を見て、「心配りは細かく、志は大きく持つ」ことを心掛けておられるとのこと。



吉田茂直筆の色紙(本物)



右城代表幹事による挨拶



乾杯の音頭をとる中村和弘幹事 司会役の橋口孝好幹事



祝辞を述べらる山本克彦副代表幹事(左)と田村嘉範会員



村山先生を囲んで歓談



最年少の吉岡恵会員より花束が贈呈された



森直樹幹事の音頭による万歳三唱で祝賀会を閉める



格調高い謝辞を述べられる村山保先生

四国支部活動検討WG会議の開催 第1回香川県(7/15)

四国支部設立後の活動を実体のあるものとするため先行的討議を行うことを目的にワーキンググループ(WG)が設置され、定期的に会議が開催されることとなった。会場は香川県を起点に各県巡回方式(時計回り)で開催される。

日時 平成 21 年 7 月 15 日(水)14 時 30 分～
場所 香川県三豊市「JA 高瀬会館」
参加 橋口幹事，小川幹事，古屋幹事，
岡田監事，明坂事務局長
議題 四国支部の取り組みテーマ
会費と会員サービスの関係
その他



近藤支部長挨拶の様子

佐川町道原島線「黒原橋」の災害支援活動について(8/17)

8月9日に高知県を襲った台風9号によって仁淀川支川柳瀬川に架かる佐川町道原島線黒原橋が被災した。(社)高知県建設技術公社から「建設技術の協力・支援に関する協定」に基づく支援要請を受け，17日建設・総合技術監理部門(土質及び基礎，鋼構造及びコンクリート)を専門とする右城猛会員と，建設・総合技術監理部門(土質及び基礎)を専門とする岡田知己会員を現地に派遣し，被災状況を視察した。

両会員の現地視察報告を受け，今後の災害復旧に向けて調査・検討すべき事項を取りまとめ報告した。



グループ討議の様子

「産官学と技術士との合同セミナー」中四国支部(8/29)

各県の持ち回りで毎年開催されている当セミナーが，今年は山口県で開催された。右城代表が参加したのでそのレポートを後ろに添付する。

四国支部活動検討WG会議の開催 第2回徳島県(8/22)

日時 平成 21 年 8 月 22 日(土)14 時～
場所 徳島市「ホテルグランドパレス徳島」
参加 小川幹事，古屋幹事，岡田監事，
明坂事務局長
議題 中四国支部との意見交換会
討議「四国支部ビジョン，活動方針」
その他

中四国支部の近藤支部長，武山理事の挨拶に続いて，今回は支部の大田一夫氏，乗安直人氏の各事業委員長からそれぞれの取り組みの紹介を基に討議が進められた。

四国支部活動検討WG会議の開催 第3回高知県(9/30)

日時 平成 21 年 9 月 30 日(水)14 時～
場所 高知市「高知パシフィックホテル」
参加 橋口幹事，小川幹事，古屋幹事，
岡田監事，公文委員，明坂事務局長
議題 本部との打合せ状況について
四国支部ビジョン，活動方針，事業
計画素案について
その他

現在の会員数が目標 300 を超えた(306)ことや，本部との打合せの中で 22 年度予算に四国支部予算が計上され，22 年 4 月の支部新設が確認されたことが報告された。

支部ビジョン等の討議に関しては，参加者 20 名により，四国支部ビジョン，活動方針，事業方針等について，グループ討議が行われ各

班発表がプロジェクターを用いて行われた。討議結果、意見をもとに次回一時とりまとめ、11月最終とりまとめが行われる予定。



会議の様子



グループ討議結果発表の様子

中村和弘会員らが地盤工学会四国支部より特別表彰を受ける(9/25)

9月25日、(社)地盤工学会四国支部の創立50周年記念式典がサンポートホール高松で開催され、高知県技術士会から、中村和弘幹事、森直樹幹事と右城代表幹事が出席した。

式典の中で、中村和弘幹事が、過去10年間において支部及び地盤工学の発展に関して顕著な貢献をしたとして技術功労賞を受賞。この賞は、長年にわたり人目に付きにくい業務に従事し、地道な実務の積み重ねを通じて地盤工学の進歩発展に功労があった者に授与されるものです。

中村幹事にとっては勿論のこと、高知県技術士会にとっても大変名誉なことでありました。中村様、本当におめでとうございます。



表彰式の様子(右端が中村会員)

(社)高知県建設技術公社への講師派遣について(7/7・8, 8/21, 9/10, 11/12)

「建設技術の協力・支援に関する協定」に基づく講師派遣については次のとおり

平成 21 年度土木技術専門研修(道路設計)

7月7日、道路計画・設計(1) [津野修会員]

道路計画・設計(2) [藤本芳伸会員]

道路計画・設計(3) [西川準二会員]

7月8日、擁壁の設計 [右城猛会員]

平成 21 年度橋梁点検技術研修会

8月21日、橋梁点検技術 [関山雅彦会員]

高知県土木部新規採用技術職員研修

9月10日、土木技術者の心得 [和田達夫会員]

平成 21 年度土木技術専門研修(河川計画)

11月12日(予定)、河川の水理学 [中村智会員]

河川構造物の設計 [水野隆之会員他]

(社)日本技術士会全国大会の開催(10/15・16)

今年も全国大会が開催されます。今年には仙台市(東北支部)です。この会報が配付される時点では、終わっていると思いますがチラシを後ろに添付しておきます。

産官学と技術士との合同セミナー(山口)への参加

高知県技術士会代表幹事 右城 猛

まえがき

日本技術士会が主催する中四国支部の「産官学と技術士との合同セミナー」は、各県の持ち回りで毎年開催されている。今年は、山口県技術士会のお世話で、8月29日(土)に「食の安全安心」をテーマに開催された。

平成18年には高知県で開催され、山口県技術士会から多くの会員が出席されている。

講演会

講演会は、ニューメディアプラザ山口を会場に14時より開催された。参加者は約80名であった。

最初に、日本技術士会副会長の末利鍔意氏より開会の挨拶があり、続いて歓迎の挨拶を山口県知事代理の池富士清氏と山口市長の渡辺純忠氏が述べられた。司会は宇部興産コンサルタント(株)の住居孝紀氏が担当された。

基調講演は、山口大学農学部教授の糸原義人博士。テーマは「食の安全・安心から見えること」。約1時間にわたり、『食は健康の基である。生命維持には量、子孫繁栄には質が必要。食を市場経済にだけ任せるのではなく、環境保全税、景観維持税、空気浄化税などの税財源を設け、中山間地農業に所得移転をして、安全な農業生産体制を整えることが重要』と話された。



基調講演をされる山口大学の糸原義人教授

10分間の休憩の後、「食の安全安心」消費者意識が食を救う」をテーマにして、パネルディスカッションが行われた。

最初に池富士清氏、田原文栄氏、神徳治雄氏、岡村悦男氏の4名のパネリストより話題提供があった。

山口県農林水産部審議監の池富士清氏からは、山口県の食料自給率は生産額ベースが54%、カロリーベースが33%とともに全国平均(69%、40%)を下回っている。「地産・地消」を県民運動にする行動計画を作っているという説明があった。

田原文栄さんは、山口銘菓「豆子郎(とうしろ)」という豆入りういろの製造販売会社「(株)豆子郎」の常務取締役。「農産物を消費者に高く買ってもらうためには、その理由をしっかりと説明する必要がある」と主張された。

神徳治雄氏は建設部門の技術士であるが、6年前に廃業した農家から水稲1.5haと畑10aを引き受けて百姓をしている。「有機無農薬栽培に取り組んでいるが、現実的には非常に手間がかかって難しい。多品目家族農業でない無農薬栽培はできない。効率化を目指した一品目大規模農業では無理。百姓の時給は現在200円しかないので生活ができない。農産物価額を今の2~3倍にする必要がある」と主張された。

岡村悦男氏は農業部門の技術士で、山口県技術士会の会長。山口県土地改良事業団体連合会の専務理事でもある。「食料は何年も備蓄することはできない。農地を保全していないといざ必要となっても生産できない。農地を保全するには人の手がいる。農地を保全するには政治の力が必要」という意見を述べられた。

その後、糸原義人教授のコーディネートのもとでディスカッションが行われた。



話題提供をした4名のパネリスト



閉会の挨拶をされる日本技術士会中四国支部長の近藤英樹氏



司会の住居孝紀氏

山口の食に親しむ会

セミナーの第二部は、会場を「キッチンモンマルトル(山口市朝倉口交差点2F)」に移し、有機米で作ったおむすび、有機野菜を使ったサラダ、おでん、天ぷらなどの料理を食べ、山口大学農学部の生産した米で作られた純米酒「長州学舎」などをたんのうしながら、食を語り合った。

料理に使われた有機米と有機野菜は、パネリストをされた神徳治雄氏が手間暇を掛けて生産したものの。

純米酒「長州学舎」は、リンゴのような香りがしてとても美味しい。日本酒がこんなに美味しいのかと感動させられた。大学の生協で、2500円で販売しているがすぐに完売になるとのこと。

この店のオーナーは、株式会社ケイズラブ社長の河内義文氏と同級生で、昔、エイトコンサルタントで測量をしていたそうである。



キッチンモンマルトルで山口の食に親しむ会



純米酒「長州学舎」



河内義文氏と店のオーナー

(2009.8.31 記)

第36回 技術士全国大会(仙台)

「社会の安全・安心と技術士の役割」

未来創造、東北からの発信



2009

10/15 木 ▶ 16 金

宮城県仙台市 仙台国際センター
〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地 TEL.022-265-2211

10/15 木 記念式典 / 基調講演 / 交流パーティ*

10/16 金 : 分科会 / 総合シンポジウム

◆後援: 文部科学省 / 農林水産省 東北農政局 / 林野庁 東北森林管理局 / 経済産業省 東北経済産業局 / 国土交通省 東北地方整備局 / 宮城県 / 仙台市 / (N) (R) (C) 仙台放送局 / (R) 河北新報社 / 建設新聞社 一部申請中

◆協賛: (社)土木学会東北支部 / (社)電子情報通信学会東北支部 / (社)電気設備学会東北支部 / (社)空気調和・衛生工学会東北支部 / (社)日本機械学会東北支部 / (社)日本建築学会東北支部 / (社)農業農村工学会東北支部 / (社)建設コンサルタンツ協会東北支部 / (社)日本土木工業協会東北支部 / (社)日本建設機械化協会東北支部 / (社)東北建設協会

10/15 木 無料
10/16 金 有料

*10/15開催の交流パーティへの参加は有料(7,000円)となります。

技術士会会員以外の一般の方の参加については、(社)日本技術士会東北支部(下記)宛に確認して下さい。

申込先
第一観光トラベル(株)「第36回技術士全国大会(仙台)」係
〒980-0021 仙台市青葉区中央3丁目4-10 ブルービル4F
申込専用FAX: 022-224-6188
担当: 小井戸、星、高山

申込締め切り日
8月31日(月)

問い合わせ
(社)日本技術士会東北支部
〒980-0012 仙台市青葉区錦町一丁目6-25 宮崎ビル
Tel: 022-723-3755 Fax: 022-723-3812
URL: <http://tohoku.gijutusi.net/>

テーマ 「社会の安全・安心と技術士の役割」

◆大会行事

日程	行事	時間	内容	会場	
10月15日(木)	第一部 記念式典	13:20~14:00	■受付	大会実行委員長・宮城県技術士会 代表幹事 大会委員長・日本技術士会東北支部 支部長 (社)日本技術士会 会長 文部科学省 文部科学大臣 宮城県知事 仙台市長 農林水産省 東北農政局長 経済産業省 東北経済産業局長 国土交通省 東北地方整備局長	仙台国際センター (大ホール) 参加費:無料
		14:00~15:20	■開式の辞 ■歓迎の挨拶 ■主催者挨拶 ■来賓祝辞		
10月16日(金)	第二部 交流パーティ	15:30~17:30	■来賓紹介 ■大会宣言 ■基調講演 演題 「将来社会の見通しと科学技術の役割」 講師 西澤 潤一 氏 首都大学東京名誉学長(元・東北大学総長) ■閉式の辞	大会副委員長・日本技術士会東北支部 副支部長	仙台国際センター (桜の間) 参加費:7,000円
		17:50~20:10	■開会挨拶 ■来賓挨拶 ■乾杯 ■会食 ■アトラクション ■次回開催地からのPR(中部支部) ■閉会挨拶	大会副委員長・日本技術士会東北支部 副支部長	
10月16日(金)	第一部 分科会	受付 8:45~9:10 分科会 9:15~11:45	分科会	第1分科会 「食の安定的な確保と安全な供給」 —地域活性化の発掘—	参加費:第1・2部共通 仙台国際センター(橋)
				第2分科会 「資源・エネルギーの有効利用と循環型社会」 —持続可能な社会を目指して—	“(萩)225名
				第3分科会 「地震災害に備え、地域社会の安全向上に貢献する」 —減災技術や減災活動の仕組みづくりについて—	“(白檀1)126名
				第4分科会 「技術のマネジメント」 —技術による安全・安心な社会への貢献と技術の継承—	“(白檀2)72名
				第5分科会 「中立公正の堅持と自律的な規範」 —技術者の信頼向上について—	“(会議室)65名
第二部 総合シンポジウム	13:00~14:45	テーマ 「社会の安全・安心と技術士の役割」 — 未来創造、東北からの発信 — ■「テーマ選定の主旨説明」(コーディネーター) ■「提言発表」(5分科会 主査) ■「パネルディスカッション型式質疑応答」 ■「技術士からの提言」	参加費:8,000円 第1部・2部共通 (弁当・お茶代込み) 昼食:11:45~13:00 仙台国際センター (大ホール)		
	14:45~14:50	■閉会挨拶	大会副委員長・日本技術士会東北支部 副支部長		

◆関連行事

月日 適宜	■1. ゴルフ 「泉パークタウンゴルフ倶楽部」 9:50スタート (昭和60年開業 18H) 2009/10/14(水) 住所:仙台市泉区明通一丁目1番地の1 仙台駅から地下鉄南北線に乗り換えて泉中央駅まで30分、泉中央駅よりタクシーで15分	プレー費:15,300円 (参加費込み) 食事代(各自精算)
	■2. パートナーズツアー 2009/10/15(木) 13:00~17:00 「松島湾遊覧」及び「瑞巖寺・円通院・五大堂見学」	宮城県宮城郡松島町 参加費:7,000円
	■3. テクニカルツアー 日帰りコース 2009/10/17(土) 「岩手・宮城内陸地震被災地視察」 7:30~16:00 「平泉文化遺産センター及び中尊寺・讚衡蔵等見学」	岩手県一関市・平泉町 祭時大橋(落橋) 参加費:7,000円
	■4. テクニカルツアー 1泊2日コース 2009/10/16~17 10/16(金)15:00発 「骨寺村荘園遺跡見学」「岩手・宮城内陸地震被災地視察」「平泉文化遺産センター及び中尊寺・讚衡蔵等見学」 10/17(土)16:00着	宿泊:岩手県一関市 矢びつ温泉霊験の湯 瑞泉閣 参加費:26,000円